

令和6年度 広域交通ネットワーク特別委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 令和7年1月27日（月）～28日（火）

◆調査先・調査内容

①宮崎県庁（宮崎県宮崎市）

〈調査の内容〉

宮崎県庁は、東九州新幹線整備に向けた議論の活性化や機運醸成を図るため、3つのルート調査や、1月15日には「みやぎきの新幹線を考えるシンポジウム」を開催している。

今回は、宮崎県の新幹線整備に向けた「主な取組」と「ルート調査結果」ルート調査結果について話を伺った。

＜主な質疑等＞

- ・ルート調査の経緯について
- ・並行在来線問題の県民への周知及びストロー現象について
- ・ルート調査結果公表による県内市町村の反応について
- ・ルート調査結果を受けて、今後目指すルートについて



②九州大学 主幹教授 馬奈木俊介（福岡県福岡市）

〈調査の内容〉

九州大学の馬奈木俊介主幹教授は、衛星データを活用し、新幹線、高速道路などの経済影響、社会への影響などの分析をしている。

今回は、新幹線整備によるプラス面とマイナス面の両面について話を伺った。

＜主な質疑等＞

- ・人口減少下における新幹線整備の効果について
- ・B/C算定方法の見直しについて
- ・AIを活用した精緻なデータ分析の可能性及び必要経費について
- ・東九州と四国が豊予海峡ルートで接続した場合の効果について

